

12



eco products awards
2015

第12回

エコプロダクツ大賞

2015.12.10

主催/エコプロダクツ大賞推進協議会 後援/財務省・厚生労働省・農林水産省・経済産業省・国土交通省・環境省
<http://www.gef.or.jp/ecoproducts/>

持続可能な未来を見つめて

～エコプロダクツで社会を変える～

エコプロダクツ(環境負荷の低減に配慮した製品・サービス)が社会に広く受け入れられ、私たちの暮らしの中に深く浸透していくことは、社会経済活動を環境配慮型のものへと変革していく大きなきっかけの一つになります。このため持続可能な社会の実現をめざすわが国には、今後、エコプロダクツがさらに普及していくことが期待されています。またその中では、具体的に環境配慮が盛り込まれることはもちろん、独創性にあふれ、しかも事業者や消費者、投資家さらには市場関係者からも高い評価を受けるエコプロダクツが必要とされています。

一方、2011年3月に発生した東日本大震災によって、再生可能エネルギーの大幅な活用など、エネルギー政策は大きな転換を迫られました。例えば電力不足を前提とした企業活動や生活行動が求められるなど、エコプロダクツをめぐる情勢は大きく変化し、このような社会要請に対応できるエコプロダクツの早急な開発、普及も求められ、エコプロダクツは新たな局面を迎えています。

エコプロダクツ大賞推進協議会とは

「エコプロダクツ大賞推進協議会」は、エコプロダクツをさらにわが国に普及させるため、具体的にすぐれた環境配慮が組み込まれるとともに、独創性にあふれ、しかも社会的にも評価の高いエコプロダクツを表彰する「エコプロダクツ大賞」の実施などを通じて、わが国におけるエコプロダクツの振興・発展を図ることを目的に、エコプロダクツに関わりの深い民間団体が連携して2004年7月に設立されました。

エコプロダクツ大賞推進協議会の事業内容は

- すぐれたエコプロダクツを顕彰する「エコプロダクツ大賞」の実施
- エコプロダクツ大賞を受賞した製品・サービスの普及促進を図るための広報活動
- その他、推進協議会の目的を達成するために必要な活動

エコプロダクツ大賞推進協議会の会員は

エコプロダクツ大賞推進協議会は、推進協議会の事業目的に賛同する民間団体及び地方公共団体等で構成されます。

なお、2015年12月現在の会員は、

一般財団法人 地球・人間環境フォーラム

一般社団法人 産業環境管理協会

公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団

一般社団法人 日本有機資源協会 の4団体です。

エコプロダクツ大賞推進協議会の役員構成は

会長 森島 昭夫(名古屋大学名誉教授)

副会長 炭谷 茂(一般財団法人 地球・人間環境フォーラム理事長)

副会長 富澤 龍一(一般社団法人 産業環境管理協会会長)

副会長 本田 隆文(公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団理事長)

副会長 兒玉 徹(一般社団法人 日本有機資源協会会長) (順不同)

目次

第12回 エコプロダクツ大賞について	2
審査委員長講評	4

エコプロダクツ大賞 (関係省大臣賞)

農林水産大臣賞	閉鎖性海域の環境改善に寄与する水・底質浄化資材: マリンストーン	6
経済産業大臣賞	セダンタイプの新型燃料電池自動車 (FCV) 「MIRAI」	7
国土交通大臣賞	パフォーマンスマネジメントシステム「SIMS」	8
環境大臣賞	太陽光発電システムと 蓄電池のリース & レンタルサービス	9

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞 (優秀賞)

折り鶴を再生して作られた繊維	10
フル SiC 適用 VVVF インバータ装置搭載1000形リニューアル車の投入	10
ICTを利用した営農支援システム 「クボタスマートアグリシステム (KSAS)」	11
虹松プロジェクト	11
いきものコンシェルジュ	12
グリーンパネル	12
非常用マグネシウム空気電池「MgBOX(マグボックス)」	13
リコーリライタブルレーザシステム	13
日射遮蔽スライディング「オープンルーバー」	14

審査委員長特別賞 (奨励賞)

アーバン・シードバンク	14
直結増圧給水ユニット「MC5型」	15
プロセブン バイオマスマット®	15

エコプロダクツ大賞について

1 趣旨・目的

企業等による環境負荷の低減に配慮した製品・サービス（エコプロダクツ）の開発・製品化への取り組みが広がる一方、エコプロダクツが社会に広く受け入れられ、私たちの生活の中に深く浸透していくことは、社会経済活動を環境配慮型のものへと変革していく大きなきっかけの一つになります。このため持続可能な社会の実現をめざすわが国においては、今後、具体的な環境配慮が盛り込まれていることはもちろん、独創性にあふれ、しかも事業者や消費者、投資家、市場関係者からも高い評価を受ける、すぐれたエコプロダクツがさらに普及していくことが期待されています。

「エコプロダクツ大賞」はこのような状況を背景に、すぐれたエコプロダクツを表彰することによって、それらに関する情報を需要者サイドに広く伝えるとともに、それらの供給者である企業等の取り組みを支援することで、わが国におけるエコプロダクツのさらなる開発・普及を図ることを目的に、2004年度に創設されたものです。

これまで本表彰制度において大賞、優秀賞及び奨励賞を受賞した企業・団体においては、受賞によって受賞製品や企業・団体の知名度や認知度、ブランド価値が高まり、ほとんどの受賞者が受賞結果をパンフレット等に記載したり、広告や営業活動等に積極的に利用しており、本表彰制度がエコプロダクツの普及に大きな役割を果たしたことが明らかとなっています。

2 募集対象

募集の対象は、エコプロダクツおよびエコサービスとします。

「エコプロダクツ」日本国内において、すでに市場に提供されている製品とします。ただし、応募時点で市場に提供されていない製品であっても、審査開始時点で製品の確認ができ、審査結果発表時点までに市場に提供されることが確実なものについては応募を受け付けました。

「エコサービス」日本国内において、応募締切日時点でサービス提供開始から6ヵ月以上の実績を有するサービスとします。

一般消費者向けの製品・サービスはもちろん、B to Bも対象としました。なお、過去のエコプロダクツ大賞において受賞したものと同一の製品・サービスは応募できません。

3 賞の種類

応募されたエコプロダクツおよびエコサービスの審査後、下記の賞が授与されます。なお、下記の賞の種類には該当がない場合もあります。

●エコプロダクツ大賞（関係省大臣賞）

- ・財務大臣賞 <賞状、副賞>
- ・厚生労働大臣賞 <賞状、副賞>
- ・農林水産大臣賞 <賞状、副賞>
- ・経済産業大臣賞 <賞状、副賞>
- ・国土交通大臣賞 <賞状、副賞>
- ・環境大臣賞 <賞状、副賞>

●エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞（優秀賞）（賞状）

●審査委員長特別賞（奨励賞）（賞状）

※従来、エコプロダクツ／エコサービスの2部門が設定されていましたが、今回より統合して審査を行いました。

4 審査基準

審査は、下記の「審査にあたっての基本的考え方」を踏まえた上、すぐれていると評価されるエコプロダクツあるいはエコサービスを選考します。

- 当該エコプロダクツ・エコサービスの導入による環境負荷の低減が明らかなものであること
- 事業者や消費者、投資家、市場関係者等による一定の評価が得られているエコプロダクツ・エコサービスであること
- 利用しようとする者が国内市場において容易に供給やサービスを受けられるエコプロダクツ・エコサービスであること
- 環境教育的効果が認められる等、持続可能な社会づくりへ向けた社会意識の向上に資するエコプロダクツ・エコサービスであること

5 審査方法

応募案件は、予備選考を行った後、エコプロダクツ大賞推進協議会に設置した審査委員会の審査を経て最終決定されます。

審査委員

委員長	石谷 久	東京大学名誉教授
委員	池田三知子	一般社団法人日本経済団体連合会環境本部長
	大友 哲也	農林水産省大臣官房環境政策課長
	大西 友弘	厚生労働省医政局経済課長
	奥山 祐矢	環境省総合環境政策局環境経済課長
	櫛田 泰宏	国土交通省総合政策局環境政策課長
	小浦 克之	経済産業省産業技術環境局 環境政策課環境調和産業・技術室長
	須賀 唯知	東京大学工学系研究科教授 (精密機械工学専攻)
	辰巳 菊子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・ コンサルタント・相談員協会常任顧問
	藤村コノエ	NPO法人環境文明21共同代表
	八原 正夫	国税庁課税部酒税課長
	山本 良一	東京大学名誉教授

(委員長を除く氏名の五十音順)

応募状況・審査結果

エコプロダクツ大賞では、今回(第12回)から、製品／サービスを統合して「エコプロダクツ」と称しています。今回の大賞においては74件の応募がありました。

エコプロダクツ大賞推進協議会内に設置された審査委員会(審査委員長:石谷 久/東京大学名誉教授)における審査の結果、最もすぐれたエコプロダクツとして、農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞の4件の大賞がそれぞれ決まりました。

また、大賞に次いですぐれたエコプロダクツとして、9件がエコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)に決まりました。

さらに中小企業からの応募案件を対象とする審査委員長特別賞(奨励賞)として、3件が表彰されることとなりました。

審査結果は右記の通りです。

エコプロダクツ大賞(関係省大臣賞)

農林水産大臣賞

閉鎖性海域の環境改善に寄与する水・底質浄化資材:マリンストーン
JFEスチール株式会社、国立大学法人広島大学

経済産業大臣賞

セダンタイプの新型燃料電池自動車(FCV) 「MIRAI」
トヨタ自動車株式会社

国土交通大臣賞

パフォーマンスマネジメントシステム 「SIMS」
日本郵船株式会社、株式会社MTI

環境大臣賞

太陽光発電システムと蓄電池のリース&レンタルサービス
タマホーム株式会社、ONEエネルギー株式会社

(以上、関係省大臣賞4件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

折り鶴を再生して作られた繊維
オーミケンシ株式会社、株式会社日誠産業

フルSIC適用VVVFインバータ装置搭載1000形リニューアル車の投入
小田急電鉄株式会社、三菱電機株式会社

ICTを利用した営農支援システム「クボタスマートアグリシステム(KSAS)」
株式会社クボタ

虹松プロジェクト
国土防災技術株式会社、株式会社フルボ酸総合研究所

いきものコンシェルジュ 大成建設株式会社

グリーンパネル 株式会社ダイクレ

非常用マグネシウム空気電池「MgBOX(マグボックス)」
古河電池株式会社、凸版印刷株式会社

リコーリライタブルレーザシステム 株式会社リコー

日射遮蔽スライディング「オープンルーバー」 YKK AP株式会社

(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞9件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

アーバン・シードバンク 株式会社環境ビジネスエージェンシー

直結増圧給水ユニット「MC5型」 テラル株式会社

プロセブン バイオマスマット® プロセブン株式会社

(以上、審査委員長特別賞3件)

第12回エコプロダクツ大賞審査委員会 審査委員長講評

エコプロダクツ大賞は第12回を迎え、この間、多数の環境影響改善を指向する優れた技術、製品、サービスをエコプロダクツとして身近に眺められた。他方、最近の世界的に広がる異常気象の要因と言われている温暖化ガス排出防止強化の要請が強まり、これに対応する本賞対象の省エネ、省資源製品などが今後、地域的、社会的に大量に普及し、地球規模の環境維持改善に資することが期待される。

なおこれまででも、エコプロダクツ大賞にはプロダクツ（製品）とサービスの両面から評価されるような案件も多く応募されており、審査の際にも議論となることが少なからずあった。このような背景も踏まえ、今回からはそれら部門の垣根を超えて、統合的に審査を行うこととなったことを申し添える。

今回も大賞として多くの省エネ、省資源の対象が選定されたがその内、4件の大臣賞の概要を以下に要約する。なお、正式名称は各ページを参照されたい。

〈農林水産大臣賞〉

閉鎖性海域の環境改善に寄与する 水・底質浄化資材：マリンストーン

閉鎖性海域では、海底に栄養塩や有機物を多く含んだヘドロが堆積しやすく、硫化水素と異臭が発生するとともに海底が貧酸素化して、海底に生息する魚介類など底生生物の死滅や、東京湾などで発生する「青潮」と呼ばれる現象の

原因となっている。100%リサイクル材料である転炉系製鋼スラグを原料とするマリンストーンは、底質中の硫化水素やリン酸イオンを化学的に吸着し、海底からの硫化水素などに起因する悪臭の発生やリンの溶出を抑制して悪化した底層水や底質を化学的に「改質」することができる。この閉鎖性海域の水質および生物生息環境を改善できる点、天然砂や天然砕石よりもトータルコストが安価となることが期待される点が評価された。

〈経済産業大臣賞〉

セダンタイプの新型燃料電池自動車（FCV） MIRAI

水素社会の実現に向けて開発されたセダン型燃料電池自動車である。その普及を目指して特許を無償公開するなど、将来有望な2次エネルギーである水素を活用した水素社会の形成に大きな役割を担うことが期待される。量産化は燃料電池の小型化とコストダウンによって実現したもので、燃料電池技術とハイブリッド技術が融合した優れた環境性能を有する。内燃機関に比べてエネルギー効率がが高く、短時間の水素の充填で十分な航続距離を得られるなど、ガソリンエンジン車と同等の利便性を実現しつつ、ライフサイクルでの環境負荷であるCO₂、NOXの排出を約50%低減できる。幅広い用途への利用が可能な水素を燃料として自ら発電して走る燃料電池自動車は、将来の水素社会の一翼を担い、エネルギー

審査委員長

石谷 久
東京大学名誉教授



供給源の多様化への対応をさらに加速させるものと期待され、優れたエコプロダクツとして高く評価された。

〈国土交通大臣賞〉

パフォーマンスマネジメントシステム SIMS

航海中の船舶の航海・機関に関するビッグデータ（位置、速力、針路、エンジン回転数、燃費等）を収集し、即時に陸側システムと共有することで、客観的なデータに基づく最適な運行オペレーションを実現すべく開発されたシステムである。本システム導入により、詳細な本船状況が船と陸でタイムリーに共有されるようになり、正確な状況認識に基づいて、無駄のない効率的な運航、配船等を可能としている。

このシステムにより、航海最適化、最適配船等を行うことで約10%の省エネとなる点、130隻以上の船舶に搭載しCO₂削減に努めている点が評価された。

〈環境大臣賞〉

太陽光発電システムと蓄電池の リース&レンタルサービス

太陽光発電システムなどの創エネ設備と蓄電池などの蓄エネ設備は初期コストが高いため、広く普及していないのが現状である。

こうした中、近年普及が進んでいる太陽光発電システムと住宅市場で普及が遅れている蓄電

池をセットでリース&レンタルすることで、従来コスト高から導入を躊躇していたエンドユーザーに対して、設備の導入コストを抑えながら、再生可能エネルギーの有効活用や創蓄連携によるエネルギー構成の最適化による継続的な経済メリットを提供する日本初のサービスであることが高く評価された。

更に9件の案件が優秀賞、3件の案件が奨励賞を受賞した。

これらについては別途資料に詳細に紹介されているが、全般的にみて、いろいろと各種製品、サービスを従来の製造、使用から廃棄段階までライフサイクルに渡ってその環境影響や社会的負担の改善を考えて新たな素材や製品、利用形態に改善・適用したシステム、製品、サービスなどが提案され、その改善効果が評価されている。特に環境負荷を下げ、経済的に妥当で今後の普及が期待される製品、システムが選定されている。

特に長期的な環境影響改善に資するものは目の前の経済性に及ばなければ成り立たず、このようなエコプロダクツ、エコサービスは発展途上国の今後の環境保護にも好影響を残す。今後も日本発エコプロダクツ、エコサービスの事例やその選定方式を世界全体に展開されて国際的にも認められる制度定着を願うものである。

農林水産大臣賞

名称

閉鎖性海域の環境改善に寄与する水・底質浄化資材：
マリンストーン

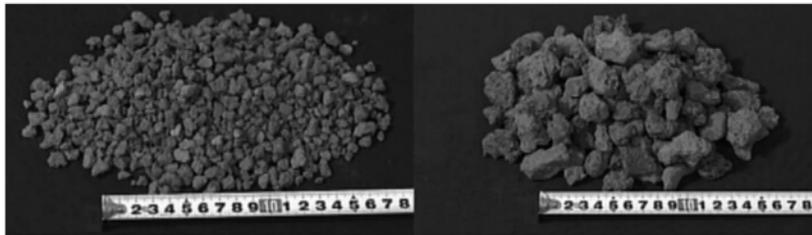
会社名・事業所名

JFEスチール株式会社、国立大学法人広島大学

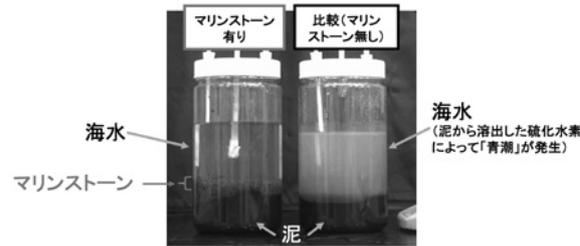
マリンストーン 製品写真

マリンストーン10(粒径 5~10mm)

マリンストーン30(粒径 10~30mm)



海底から採取した泥に「マリンストーン10」撒布時の外観(向かって左)



出品者
アピール

閉鎖性海域では、栄養塩を含んだ生活排水などの流入水の影響を受け、海底に栄養塩や有機物を多く含んだヘドロが堆積しやすくなる。ヘドロ堆積により、硫化水素発生による異臭、貧酸素化、富栄養化などさまざまな問題が生じる。「マリンストーン」^{*1}は鉄鋼生産に伴って生成する製鋼スラグを粒度調整して製造される、環境に優しいリサイクル材である。主な特徴は下記のとおり。

①ヘドロが堆積した底質上に散布(覆砂)することにより、底質中の硫化水素やリン酸イオンを化学的に吸着する。これにより、海底からの硫化水素などに起因する悪臭の発生やリンの溶出を抑制し、悪化した底層水や底質を化学的に「改質」する。また、硫化水素による酸素消費を抑えることができ、海底の貧酸素化を防ぐ。②「マリンストーン」自身の表面や間隙が海底に生息する生物(底生生物)の付着基盤となり、生物生息環境を構築する。とくにカキなどの二枚貝やホ

ヤなどは懸濁物をろ過し、水・底質を浄化することが知られており、これらの付着による自浄能力向上が期待できる。③天然砂と比較して大きな粒径を有していることから、波浪などで流失し難く、安定性に優れるため、日光が届く浅海域では藻類・海藻類の着生基盤としても機能する。

評価

閉鎖性海域では、海底に栄養塩や有機物を多く含んだヘドロが堆積しやすく、硫化水素と異臭が発生するとともに海底が貧酸素化することにより、海底に生息する魚介類などの底生生物の減少や、東京湾などで発生する「青潮」と呼ばれる現象の原因となっている。100%リサイクル材料である転炉系製鋼スラグを原料とするマリンストーンは、底質中の硫化水素やリン酸イオンを化学的に吸着し、海底からの硫化水素などに起因する悪臭の発生やリンの溶出を抑制するはたらきを持つなど、悪化した底層水や底質にはたらきかけて化学的に「改質」することができる。こうした特性を有することで閉鎖性海域の水質及び生物生息環境を改善できる点、天然砂や天然砕石よりもトータルコストが安価となることが期待される点を評価した。

経済産業大臣賞

名称

セダンタイプの新型燃料電池自動車 (FCV) 「MIRAI」

会社名・事業所名

トヨタ自動車株式会社



出品者 アピール

MIRAIは、将来期待されている水素社会の実現に向けて開発した、燃料電池自動車。水素を空気中の酸素と反応させて発電し、モーターで走行する。3分程度の水素充填で約650km走る (JC08モード：トヨタ社内測定値) など、ガソリン車と同等に使うことができる。トヨタが開発したFCスタック、高圧水素タンクなどの燃料電池技術とハイブリッド技術の融合により、内燃機関に比べて高エネルギー効率で、走行時にCO₂や環境負荷物質を排出しない優れた環境性能を実現した。さらに、①次世代のクルマに相応しい、先進的でひと目でMIRAIとわかるデザイン、②モーターによる優れた加速性能と静粛性、低重心化による操縦安定性、③非常時に使える大容量外部電源供給システム、④より安心・安全・快適にお乗りいただくための専用通信サービス、などの価値をお客様に提供している。トヨタは、水素社会構築に貢献するため、燃料電池関連の約5,680件

の特許の実施権を無償で提供することを表明。また、トヨタグループ各社も、水素ステーション建設や、FCバス・フォークリフトの開発など、幅広い取組を進めている。

評価

水素社会の実現に向けて開発された燃料電池自動車である。その普及を目指して特許の実施権を無償で提供するなど、将来の有望な2次エネルギーである水素を活用した社会の形成に大きな役割を担うことが期待される。量産化は燃料電池の小型化とコストダウンによって実現したもので、燃料電池技術とハイブリッド技術が融合した優れた環境性能を有する。内燃機関に比べてエネルギー効率が高く、短時間の水素の充填で十分な走行距離を得られるなど、ガソリン車と同等の利便性を実現しながら、ライフサイクルでの環境負荷は同等のガソリン車と比べてCO₂を約50%低減することができる。幅広い用途への利用が可能な水素を燃料として自ら発電して走るMIRAIは、将来の水素社会の一翼を担い、エネルギー供給源の多様化をさらに加速させるものと期待され、優れたエコプロダクツとして高く評価でき、大臣賞候補として適格であると判断した。

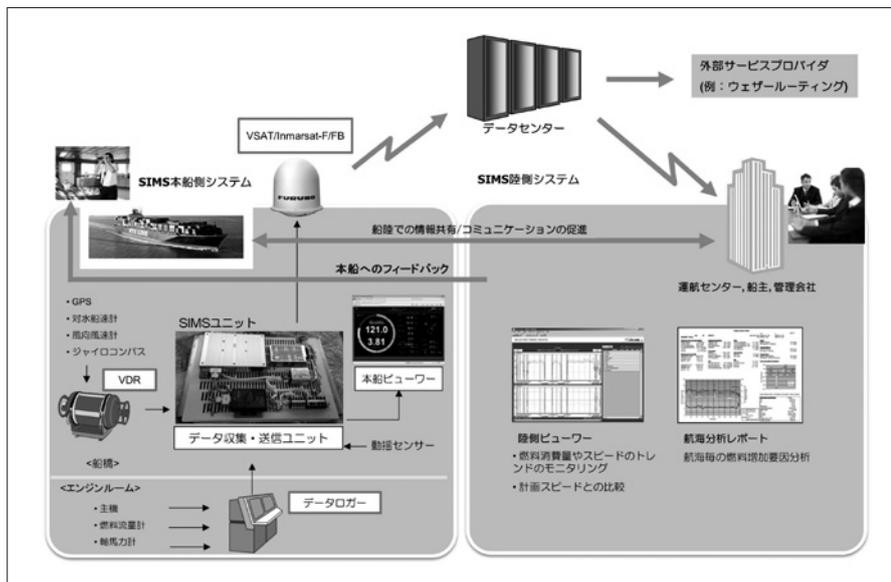
国土交通大臣賞

名称

パフォーマンスマネジメントシステム 「SIMS」

会社名・事業所名

日本郵船株式会社、株式会社 MTI



出品者 アピール

日本郵船グループは、地球温暖化防止の為、CO₂排出を可能な限り削減すべく省エネ運航を推進している。中でも2014年度にスタートした中期経営計画にて掲げた船舶運航ビッグデータの活用に対しては、同年4月に運航ビッグデータ活用特命プロジェクトを立ち上げ、積極的に取り組んできた。従来より開発を進めてきたパフォーマンスマネジメントシステム「SIMS」は船舶上に取り付けることで実際の航海中の本船の運航状態や燃費に関するビッグデータを収集し、即時的に陸上へ送信することを可能にする海陸間情報共有システムである。同プロジェクトにより搭載が130隻以上まで進み、本船の船速・燃費に関するパフォーマンスや天候など多様な情報を、より精緻に把握でき、従来を上回る効率的な運航や配船が可能となった。今後はデータの活用範囲を拡張し、他社との差別化を推し進めたい。例えば、機関故障の低減・防止を

通じた修繕費用の削減やロスタイムの減少、安全確実な貨物輸送の実現、さらには港湾・貨物の情報を組み合わせ、より競争力のある船型の提案を行う等、多様な用途を想定し、実際に取り組みを進めている。日本郵船グループの持つ運航ノウハウと併せて「SIMS」の研究・開発を進め、多角的かつ高品質な海上輸送サービスの基盤として一層発展させることで、将来の世界展開を見込む。

評価

航海中の船舶の航海・機関に関する情報(位置、速力、針路、エンジン回転数、燃費等)を収集し、即時に陸側システムと共有することで、客観的なデータに基づく最適な運行オペレーションを実現すべく開発されたシステムである。本システム導入により、毎時間の詳細な本船状況が船と陸でタイムリーに共有されるようになり、それにより得られる正確な状況認識に基づいて、無駄のない効率的な運航、配船等を可能としている。このシステムにより、航海最適化、最適配船等を行うことで約10%の省エネとなる点や、130隻以上の船舶に搭載しCO₂削減に努めている点を評価した。

環境大臣賞

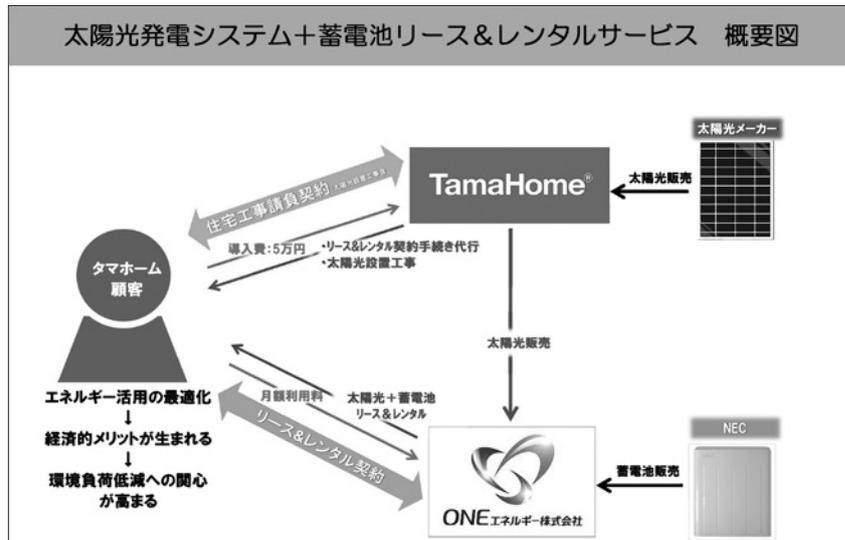
名称

太陽光発電システムと蓄電池のリース&レンタルサービス

会社名・事業所名

タマホーム株式会社、ONEエネルギー株式会社

太陽光発電システム+蓄電池リース&レンタルサービス 概要図



出品者 アピール

本サービスはタマホームで新築住宅をご契約されたお客様に、ONEエネルギーが太陽光パネルをリースで、NEC製家庭用蓄電システムをレンタルで提供するものである。太陽光発電システムや蓄電池は補助金・優遇税制などの国策により徐々に普及しつつあるが、導入コストの高さ（300～400万円程度）が要因となり一般家庭にはあまり普及していないのが現状である。本サービスで太陽光発電システムと蓄電池を導入すれば、購入の場合に比べて初期費用を大幅に抑えて、月額料金を支払うことで創エネ・蓄エネによる継続的な経済メリットを得ることが可能である。また、太陽光で発電した電力を蓄電池へ貯めて自家消費することで電力購入を抑えられ、FITの終了後や電気料金が高騰した際でも電力を効率的に使うことができる。太陽光発電システムと蓄電池を組み合わせることで、電力自由化等によるエネルギー市場

や生活スタイルの変化に応じたエネルギー活用が可能となる。太陽光発電システムと蓄電池を販売ではなく「リース&レンタル」で提供することで新たな価値を生み出し、エンドユーザーの意識や行動の変化を促すことにより環境負荷低減を目指す画期的なサービスである。

評価

太陽光発電システムなどの創エネ設備と蓄電池などの蓄エネ設備は初期コストが高いため、関心はあるものの導入費用が捻出できず断念しているエンドユーザーが多く、なかなか普及していないのが現状である。こうした中、近年普及が進んでいる太陽光発電システムと住宅市場で普及が遅れている蓄電池をセットでリース&レンタルすることで、従来コスト高から導入を躊躇していたエンドユーザーに対して、設備の導入コストを抑えながら、再生可能エネルギーの有効活用や創蓄連携をベースとしたエネルギー構成の最適化による継続的な経済メリットを提供する日本初のサービスであることを高く評価した。

名称 **折り鶴を再生して作られた繊維**

会社名・事業所名 **オーミケンシ株式会社、株式会社日誠産業**

**出品者
アピール** 広島市平和記念公園内の「原爆の子の像」には年間1,000万羽以上、10t以上もの千羽鶴が世界中から贈られている。「折り鶴に託された平和を願う尊い思いを昇華させる」という考えの下、(株)オーミケンシと(株)日誠産業は折り鶴再生パルプの繊維化に挑戦しレーヨンの製造に成功。(株)カミーノが製品化を行なっている。平和への願いのシンボルとして、折り鶴は長崎や沖縄、被災地などにも多く寄せられおり、折り鶴を再生パルプ製品や再生繊維として生まれ変わらせるこの技術は、リサイクルへの関

心を高めるとともに、平和教育の推進に有意義なものである。

評価 広島市の平和記念公園内の「原爆の子の像」には、年間1,000万羽以上、重さにして10t以上もの千羽鶴が世界中から贈られてきている。平和への思いが込められた貴重な贈り物でありながら倉庫に長期保存されたままであった折り鶴を、長年のノウハウを活用し折り鶴の再生パルプ化と繊維用の原料とすることに成功した。こうした技術を活用してシャツ、タオル、扇などの身近な商品として活用の裾野拡大を進めている点、折り鶴再生製品が環境教育や次世代への平和教育に資するというシナジー効果をもたらすことが期待される点を評価した。



名称 **フル SiC 適用 VVVF インバータ装置搭載 1000 型リニューアル車の投入**

会社名・事業所名 **小田急電鉄株式会社、三菱電機株式会社**

**出品者
アピール** 小田急電鉄では、三菱電機と共同で研究してきた成果を活かし、2014年度から通勤車両1000形に対してリニューアル工事を開始した。最大の特徴は大容量フル SiC

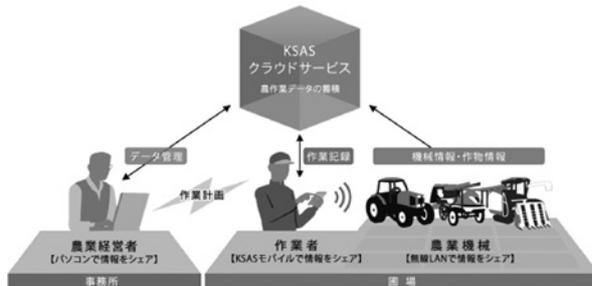
適用 VVVF インバータ装置を世界で初めて採用したことであり、従来の1000形と比較して主回路システム全体で約40%の電力削減効果を営業線にて実証することができた。継続的に従来形からの置換えを行うことで小田急線全体のエネルギー効率を向上させることができ、また、世界初の採用となったフル SiC 適用 VVVF インバータ装置が電気鉄道業界に普及することで持続可能な社会の実現に大きく貢献することができると考えている。

評価 インバータ主回路素子のダイオード部だけでなく、トランジスタ部にも世界で初めて SiC を使用したフル SiC 適用 VVVF インバータを採用し、インバータの小型・軽量化と、主回路システムで約40%の大幅な消費電力削減を達成している。また、全閉外扇式の誘導電動機、能力を向上させた空調装置、低騒音形の空気圧縮機、電気指令式のブレーキ装置等の採用により、走行性能の向上だけでなく、乗客や環境に配慮した車両となっていることを評価した。



名称 ICTを利用した営農支援システム「クボタスマートアグリシステム (KSAS)」

会社名・事業所名 株式会社クボタ



出品者 アピール

農業生産のノウハウを蓄積し、安心・安全でおいしい農作物の生産と環境に配慮した持続可能な農業を実現するシステムの構築が課題となっている。クボタスマートアグリシステム (KSAS) は、農業機械とICTを融合させて農作物・作業情報

を見える化し、農業生産の効率化を支援するクラウドサービスである。前年の食味や収量データに基づく圃場毎の施肥・作業

計画による精密農業を支援することで、増収や品質の向上が期待できる。適切な施肥による肥料の削減や、機械の効率的な使用による省エネが図れる。農業機械の稼働情報によりセルフメンテナンスが容易となり機械の長寿命化に貢献する。

評価

ICT (情報通信技術) と農業機械を組み合わせたクラウドサービスで、農業経営を見える化し、効率的な生産をサポートする営農・サービス支援システムである。作物・作業情報の蓄積・分析により、高収量でおいしい農作物づくりと作業効率の向上・コスト低減を両立することが可能。また、農機の稼働状況のレポートの活用によるセルフメンテナンスの容易化などにより、農業機械の長寿命化やエネルギー使用量の削減が期待できる。消費者が求める安心・安全でおいしい農作物を効率良く生産することを可能にする優れたエコサービスである。

名称 虹松プロジェクト

会社名・事業所名 国土防災技術株式会社、株式会社フルボ酸総合研究所

出品者 アピール

佐賀県唐津市の唐津湾沿いに虹の弧のように連なっている松原 (虹の松原) の保全活動に対して、人工的に腐植物質 (フルボ酸) を製造する特許技術を使って、大量に産出される松葉を有用資源として利用する技術を確立し、その製造したフルボ酸を配合したシャンプーを販売した利益を寄付することで、松葉かきの労働力を有償で確保する仕組みを作る循環型の活動を行っている。なお、この特許手法で製造されたフルボ酸は、アメリカのPCPC (米国パーソナルケア製品評議会) のINCIコードで「Fulvic acid」として登録されている。

評価

佐賀県唐津市にある海岸林「虹の松原」では、「白砂青松」の環境を守るために地元ボランティアなどが年間6,000人規模で松葉かきなどの作業を行っており、年間1,000tもの松葉が発生している。こうした松葉等の未分解の有機物から人工的に腐植物質 (フルボ酸) を作る技術により、処理費用のかかる松葉から付加価値の高い商品を製造している点、その収益を活用して有償ボランティアを確保する仕組みを作っている点等、こうした一連の活動が一つの循環を形成しており、環境保全活動の推進が期待される点を評価した。



名称 **いきものコンシェルジュ**

会社名・事業所名 **大成建設株式会社**

**出品者
アピール** 「いきものコンシェルジュ」は、生物多様性に配慮した施設計画を行うためのツールである。一般的には成果の見えにくい「生物多様性に配慮した緑地や水辺を創造する

ことによって得られる効果」を、訪れる生き物、即ち、鳥、蝶、トンボの飛来確率を予測・可視化し、定量的に評価することができる。施設計画の初期段階で生物多様性を高め、最適な施設計画の実現が可能。クライアントと会話しながらiPadのアプリに入力すると、短時間にわかりやすい結果が表れ、公園や建物の緑地・水辺計画のケーススタディを、容易に実施することができる。



評価 生物多様性の重要性について社会の認識は高まりつつあるが、何から始めればよいのか、何をやればいいのか分かりにくく、また、長い調査期間と高いコストに加え、効果が見えにくいという理由で取組が進まない現状がある。こうした中、iPad上で計画地に飛来する「鳥」「チョウ」「トンボ」を予測し、計画地を訪れる生き物を定量的に容易に評価することができること、これらのいきものが「くる」「こない」で生物多様性をシンプルに評価することで生物多様性を身近なものとして感じることができること、簡単な取組であってもその効果が得られることを図表と写真で解りやすく表現していること、生物多様性への新しいアプローチを提供し社会における生物多様性の推進に寄与することについての可能性を有するサービスであることなどを評価した。

名称 **グリーンパネル**

会社名・事業所名 **株式会社ダイクレ**

**出品者
アピール** グリーンパネルは、主に法面補強工事に用いられるFRP製の受圧板で、国土交通省の「NETIS」においても、【活用促進技術(VE)】の認定を受け、経済性や環境面で、その有効性が評価されている。また軽量なので、設置に大型機械を必要とせず、災害復旧や耐震補強工事などでも、施工効率の向上と工期短縮に効果を発揮。工事現場での節電や省エネに寄与し、コスト削減と作業環境面でのエコに貢献している。また、製品に使用する樹脂材料には植物由来のバイオマス樹脂を採用し、斜面補強と環境への配慮の両立を図った。



評価 グリーンパネルは、危険斜面の災害を防止する「法面補強工事」に使用されるバイオマス樹脂を採用したFRP製の受圧板で、販売開始以来、公共事業を中心に施工実績が全国で3,000件に及び、施工性・安全性・経済性の向上、環境への影響面などの項目で、その有効性が評価される。また、軽量で人力

施工が可能のため、設置作業に大型機械を必要とせず、養生期間も短縮されるため、施工効率の向上と工期短縮に効果を発揮し、工事現場での節電や省エネに寄与し、コストの削減と作業環境面のエコロジーに貢献する点を評価した。

名称 **非常用マグネシウム空気電池「MgBOX(マグボックス)」**

会社名・事業所名 **古河電池株式会社、凸版印刷株式会社**

**出品者
アピール** 一般的に電池の容器は、金属やプラスチックであることが一般的である。これに対して本製品の特徴は、発電材料が「マグネシウム」「空気(酸素)」「食塩水」であり、有害物質が一切含まれていない為、容器を紙製にすることで容易に一般ゴミとして廃棄できるように設計した。空気をより効率的にMgBOX内部に取り込めるような構造設計を行い、古河電池・凸版印刷共同で開発し、長期間安全に、かつムダなく備蓄できる非常用発電器である。

評価 水や海水を投入するだけで多くの電力供給が可能となる、非常用使い捨てマグネシウム空気電池である。難燃性マグネシウムを負極物質とし、プラチナやレアメタルを使用しない酸素還元触媒を使用することでコストを削減。スマートフォンで30回程度の充電が可能で、最大電量は300ワット時で最大発電時間5日間と大容量であり、かつ水を入れない限り発電しないため長期間保存が可能であるため、防災備蓄用品としての利用が期待される。また、使用後の廃棄が容易となるよう、世界で初めて紙製容器を使用して環境にも配慮するなど優れたエコプロダクツである。



名称 **リコーリライタブルレーザシステム**

会社名・事業所名 **株式会社リコー**

**出品者
アピール** 本製品は、レーザ光を専用のリライタブルメディアに照射し、非接触でメディアの表示内容を繰り返し書換えできる世界初*のラベリングシステムである。リコー独自のレーザマーカとレーザ消去機、専用メディアによって、約1,000回の表示書換えが可能となり、通い箱などにラベルを貼ったまま、繰り返し書換えができるラベルの運用を実現している。この製品の採用により、従来の紙ラベル運用と比較して、ラベルの貼り替え作業が不要になるのみならず、ラベルゴミの発生やラベルの糊残り洗浄作業をゼロ化することができ、環境負荷削減に貢献できる。



リライタブル レーザマーカ



リライタブル
レーザ消去機



リライタブル
レーザメディア

評価 半導体レーザ光を専用のラベルに照射し、非接触で表示内容を繰り返し書換えができる記録システム。流通・小売・製造業の通い箱等に使用される配送ラベルを、箱に貼付したままコンベヤ上で何度も書換えることが可能。従来の感熱ラベルと比較すると、ラベルの廃棄物が削減される上、ラベル剥が

しに対する高圧洗浄工程・洗浄後の通い箱の乾燥工程が不要となり、紙資源・水使用量・CO₂排出量の大幅削減が期待できる。屋外運用時の耐光性にも優れており、ラベルの繰り返し使用を可能にした環境負荷の低減効果が大きい優れたエコプロダクツである。

名称 **日射遮蔽スライディング「オープンルーバー」**

会社名・事業所名 **YKK AP株式会社**

**出品者
アピール** 住宅における開口部の熱損失は、夏季73%、冬季58%と非常に高い。その開口部の外部に「オープンルーバー」を設置することで、夏季の日射遮蔽と、冬季の日射熱取得の両方を、障子を引くだけの簡単操作で可能にし、冷暖房エネルギーを効果的に抑制する。また、すだれやよしずとは異なり、ルーバー間に85ミリの隙間を設けている為、日射遮蔽しつつ風をたくさん取込むことができ、かつ室内が暗くならないので昼間は照明器具の使用が不要であり、さらに永年使用が可能であ

る為、毎年ゴミとして燃焼させることなくCO₂発生も抑えられる。



評価 開口部の外で日射熱を遮熱することで室内温度の上昇を抑え、エアコンなど空調設備への依存を少なくし、快適な住環境を実現する上吊り引き戸形式のルーバーである。ルーバー障子の開閉により、夏の風通しや冬の日射を有効に利用でき、すだれや内部ブラインド等と比較して室内が薄暗くならず圧迫感もなく、快適な部屋を保つことができる。主材料は製造時に発生するアルミニウム端材等をリサイクルするなど、省エネ・省資源と利便性の両立を実現している。自然の風や太陽を利用し地球温暖化の防止に寄与する優れたエコプロダクツである。

名称 **アーバン・シードバンク**

会社名・事業所名 **株式会社環境ビジネスエージェンシー**

**出品者
アピール** 休眠地域資源を活用した新たな都市緑化市場の創造と、希少となった日本の在来性植物保全～市街地生物多様性確保の取組との両立を実現する「アーバン・シードバンク」は、地域性在来種苗による緑化を12年間実施してきた(株)ゴバイミド

りのノウハウと、10年間全国各地で放置林再生事業を営んできた当社およびNPO環境リレーションズ研究所の里山ネットワークとを活用してプロデュースするCSV型緑化商品。放置された真っ暗な荒廃里山の地中には、かつて自生していた地域性在来植物の種が沢山眠



る。これら種集団「シードバンク」から育てた苗を寄せ植えた「アーバン・シードバンク」緑化ユニットで都市を緑化し、里山地方に資金と人を流す。

評価 荒廃里山の地中には、「シードバンク」と呼ばれる、従来その里山に生えていた地域性在来植物の種の集団が存在する。このシードバンクから育てた苗を寄せ植えた「アーバン・シードバンク」緑化ユニットを都市の緑化に使うことで、都市は緑や生物で潤い、里山地域にはその利益が還流する。こうした取組により、荒廃里山の手入れ再開や「シードバンク」など未利用資源の有効活用が期待される点、従来、都市緑化で使われてきた外来植物を在来植物に替えることで都市の生物多様性の向上に寄与する点を評価した。

名称 **直結増圧給水ユニット「MC5型」**

会社名・事業所名 **テラル株式会社**

**出品者
アピール** | テラルは新コンセプト「Triple e」(高効率な商品で省エネを実現し地球環境を守る)を掲げ、新たな省エネ性を実現させた直結増圧給水ユニット「MC5型」を提供している。本機器の総合効率は3次元流体解析を駆使したポンプの高効率化、配管系の圧力損失低減、制御方法の最適化を追求し、大幅に向上した。消費電力は従来型(MC4型)に比べ約30%削減、初期型(MC型)と比較して約50%以上の削減となる。企業として地球規模での環境保護に貢献するため、「Triple e」に基づいた活動をさらに強化したいと考える。

評価 | ポンプとモーターの高効率化を追求して高いユニット総合効率を実現した次世代ポンプユニット。コンパクトなレイアウトで小型軽量化と配管スペースの拡大を実現し施工費を安くできる。使用水量に応じて回転数を変化させ、また吐出圧力を制御することにより余分な圧力の発生を抑えるなど省エネ効果も期待できる。現行型に比べて、消費電力を30%削減し、低騒音・低振動を実現。さらに、直結増圧方式により配水管圧力を利用しての給水が可能のため、ランニングコストが低く、配水管直結のため受水槽が不要等の省スペース化など、優れたエコプロダクトである。



名称 **プロセブン バイオマスマット®**

会社名・事業所名 **プロセブン株式会社**

**出品者
アピール** | 震度7クラスの地震に対して、敷くだけの簡単設置で転倒を防ぐことのできる耐震対策商品が「プロセブン バイオマスマット®」である。このバイオマスマットは、設計開発段階から素材を抜本的に見直し、バイオマス原料を採用する画期的な取り組みにより、従来の耐震マットに対して

石油由来原料の使用量を約20%減らし、CO₂削減に貢献するとともに、粘着力アップと1.4倍の耐用年数向上による使用量削減で、石油由来原料の使用量を約半分にした経済的で安全・安心なエコプロダクトである。一般消費者はもとより企業のBCPの実現支援などで好評である。

評価 | 「プロセブン バイオマスマット®」は、非可食のヒマから製造されるひまし油を原料として、バイオマス度20% (製品の乾燥重量に対して使用したバイオマス原料の割合) を実現した耐震対策商品であり、従来の石油由来原料から作られたプロセブンマットよりも約1.4倍の耐用年数(同社製品比)の8年~10年が実現できたことにより、入替の更新頻度が減り、石油由来原料の使用量を削減できる点、廃棄段階においてもサーマルリサイクルが可能で、環境負荷の低減が期待できる点を評価した。



第1回エコプロダクツ大賞 受賞一覧

エコプロダクツ部門

農林水産大臣賞
国産材合板(杉工房・松工房) セイホク株式会社

経済産業大臣賞
プリウス(DAA-NHW20) トヨタ自動車株式会社

国土交通大臣賞
難燃化リサイクル吹付断熱材 セラミライトエコ セラミライトエコG
株式会社大林組

環境大臣賞
エレクトリック通勤用Passol(SY01J) ヤマハ発動機株式会社
(以上、関係省大臣賞4件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

キリン軽量大びん キリンビール株式会社
高カロリー輸液用 総合ビタミン・糖・アミノ酸・電解質液 フルカリック
田辺製薬株式会社、テルモ株式会社

軽量電動車椅子(TAO LIGHT II) アイシン精機株式会社

つみぎハウス 株式会社つみぎハウス

再生型枠「NFボード」 JFEスチール株式会社

環境配慮型照明器具 タイマーセルコン
SmartLighting Eco(FSA42666F PF9) 松下電工株式会社

燃費マネージャー(FCM-2000) 株式会社テクトム

フォトロード工法(光触媒舗装)
株式会社フジタ、太平洋セメント株式会社、石原産業株式会社、フジタ道路株式会社
フローベア「魔法びん浴槽」シリーズ(KQQ1717/1721 P/X)
東陶機器株式会社

家庭用ガスエンジンコージェネレーションシステム エコウィル(ECOWILL)
大阪ガス株式会社、東邦ガス株式会社、西部ガス株式会社、
本田技研工業株式会社、株式会社ノーリツ、株式会社長府製作所
(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞10件)

エコサービス部門

農林水産大臣賞
菜の花プロジェクト 菜の花プロジェクトネットワーク

経済産業大臣賞
製鉄インフラを活用した廃タイヤのリサイクル
新日本製鐵株式会社広畑製鐵所、関西タイヤリサイクル株式会社

国土交通大臣賞
モーダルシフトの推進スーパーレールカーゴ
佐川急便株式会社、日本貨物鉄道株式会社

環境大臣賞
あかり安心サービス
松下電器産業株式会社電材営業本部カスタマーリエイトセンター
(以上、関係省大臣賞4件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

外食チェーンとのアライアンスによる統一リサイクルシステム
ワタミエコロジー株式会社

HDRIVE(日立モータドライブ省エネサービス) 株式会社日立製作所

廃蛍光灯リサイクル処理事業 株式会社神鋼環境ソリューション
エコドライブ2000システム

株式会社エコ・クリーチャーズ エコドライブ事業部

底泥置換覆砂工法 大成建設株式会社

「環境配慮型経営促進事業」融資制度 日本政策投資銀行
(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞6件)

第2回エコプロダクツ大賞 受賞一覧

エコプロダクツ部門

経済産業大臣賞
高出力一体形自然冷媒(CO₂)ヒートポンプ給湯機(RHK-23TBA)
日立ホーム&ライフソリューション株式会社

国土交通大臣賞
再築システムの家(URU) 積水化学工業株式会社

環境大臣賞
家庭用燃料電池コージェネレーションシステム「ライフエル」
東京ガス株式会社、株式会社荏原製作所、松下電器産業株式会社
(以上、関係省大臣賞3件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

家庭用ルームエアコン(MSZ-Z40RS・MSZ-ZXV40RS)
三菱電機株式会社

インクジェット複合機(PIXUS MP500) キヤノン株式会社

サンドウェーブG ガラスリソーシング株式会社

洗濯乾燥機「ビートウォッシュ」(BW-DV9F)
日立ホーム&ライフソリューション株式会社

(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞4件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

ペバスト エアヒーター(Air Top 2000S) ペバストジャパン株式会社

エコプロワー(eb-C100-01) 株式会社メジャー化学

レイスタープロテックス 株式会社アルケー企画

(以上、審査委員長特別賞3件)

エコサービス部門

農林水産大臣賞
茶殻リサイクルシステム 株式会社伊藤園

経済産業大臣賞
ESCO事業(日立エネルギーソリューション)
株式会社日立製作所 エネルギーソリューションサービス推進本部

国土交通大臣賞
みまもりくん いすゞ自動車株式会社

環境大臣賞
「環境銀行」環境配慮金融商品の提供 株式会社びわこ銀行
(以上、関係省大臣賞4件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

オフセットインキ缶リサイクルシステム
「東洋MPエコサイクル(TME)システム」 東洋インキ製造株式会社

天然ガス自動車の大量導入によるグリーン配送 佐川急便株式会社

NECリフレッシュPC事業 NECパーソナルプロダクツ株式会社

業界プラットフォーム事業(共同物流) 株式会社日立物流

(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞4件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

カーシェアリング・サービス シーイーブイシェアリング株式会社

製品及び産業廃棄物の記歴管理システム 株式会社アイユー

(以上、審査委員長特別賞2件)

第3回エコプロダクツ大賞 受賞一覧

エコプロダクツ部門

農林水産大臣賞

カートカン (紙製飲料缶)
森を育む紙製飲料容器普及協議会、凸版印刷株式会社

経済産業大臣賞

ヒートポンプななめドラム 洗濯乾燥機 (NA-VR1100)
松下電器産業株式会社

国土交通大臣賞

高品質再生粗骨材「サイクライト」 株式会社竹中工務店

環境大臣賞

自己放電抑制タイプの新型ニッケル水素電池「eneloop」
三洋電機株式会社
(以上、関係省大臣賞4件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

グリーンプロマックス 旭化成パックス株式会社

液晶テレビ (LC-52GX1W) シャープ株式会社

マツダ MPV (DISIターボエンジンを搭載した低排出ガス・低燃費車) (DBA-LY3P)
マツダ株式会社

東洋ガラス超軽量一般びんシリーズ 東洋ガラス株式会社
(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞4件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

バイオポット Z品番 (biopot ZpacH・ZacH) 有限会社グリーンサポート

デコスドライ工法 (セルローズファイバー断熱材) (JISA9523) 株式会社デコス

廃プラスチック建材「エコマウッド」デッキ (D-1) 株式会社エコマ商事

保水機能付ベランダ用タイルデッキシステム材
「パーセア MT シリーズ 100」(AP10MT01UF) 東陶マテリア株式会社
(以上、審査委員長特別賞4件)

エコサービス部門

農林水産大臣賞

食品リサイクルパッケージシステム 京王電鉄株式会社

経済産業大臣賞

循環型物流サービス「環境デリバリーパック」と
リターナブル包装箱「イースターバック FX モデル」の提供
スターウェイ株式会社

国土交通大臣賞

「えころじこんぼ」(ゼロエミッションを目指した引越) 日本通運株式会社

環境大臣賞

大手町カフェ 三菱地所株式会社
(以上、関係省大臣賞4件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

「エコ定期預金」「リサイクル定期預金」を中心とした環境保護意識の高揚
敦賀信用金庫

ロジスティクスソリューション 富士通株式会社

国内初全世帯太陽光発電付き賃貸マンション「ニューガイア」
芝浦特機株式会社
(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞3件)

第4回エコプロダクツ大賞 受賞一覧

エコプロダクツ部門

農林水産大臣賞

ガシャボンアースカプセル昆虫採集 (JAN 4543112-48052-1)
株式会社バンダイ

経済産業大臣賞

ゼログラフィー複合機&プリンター
(ApeosPort-III C2200/C3300,DocuCentre-III C2200/C3300 & DocuPrint C2250)
富士ゼロックス株式会社

国土交通大臣賞

輻射式冷暖房装置ハイブリッドサーモシステム「ecowin」
株式会社エコファクトリー

環境大臣賞

鉄道用ハイブリッド車両 キハE200形 (C115形主変換装置)
東日本旅客鉄道株式会社、株式会社日立製作所
(以上、関係省大臣賞4件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

高効率LEDダウンライト「E-CORE[イー・コア]」(LEDD-44001W-LS1シリーズ)
東芝ライテック株式会社

新世代環境対応 X線CT診断装置 (TSX-101A)・
X線管 (CSRX-9266HE-H)・CCDカメラ (VP-34019)
東芝メディカルシステムズ株式会社、東芝電子管デバイス株式会社

外部電源式アイドリングストップ冷暖房システム
東京電力株式会社、日野自動車株式会社、株式会社デンソー、大崎電気工業株式会社

ソーラー・LED照明灯 (LN-LW3A1) シャープ株式会社

お米から生まれた自然塗料 キヌカ 日本キヌカ株式会社
(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞5件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

地中熱を利用した基礎空調換気システム (ジオパワーシステム)
株式会社ジオパワーシステム

後付け複層ガラス (ポケットサッシ 哥6) 株式会社ビックマン

木製ブロック「つみっく」 株式会社つみっく
(以上、審査委員長特別賞3件)

エコサービス部門

農林水産大臣賞

グリーンポテト (屋上サツマイモ水気耕栽培システム)
株式会社NTTファシリティーズ

経済産業大臣賞

エレベーターのリニューアル 東芝エレベータ株式会社

国土交通大臣賞

カーウイングスナビゲーションシステム
(愛車カルテ/最速ルート探索サービス) 日産自動車株式会社
(以上、関係省大臣賞3件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

トナーカートリッジリサイクルプログラム キヤノン株式会社

中距離モーダルシフトの開発と持続 株式会社日立物流
(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞2件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

自然素材 (ロハス) リフォーム、LOHAS club (顧客会員制度)
株式会社オクタ

レンタルキッズコーナー「リトルツリー」 株式会社イケヤ

(以上、審査委員長特別賞2件)

第5回エコプロダクツ大賞 受賞一覧

エコプロダクツ部門

農林水産大臣賞

サンマ漁船用 省エネ集魚灯 U-BEAM.eco (TAIRYO575X2D)
ウシオライティング株式会社

国土交通大臣賞

クリーンディーゼル乗用車「X-TRAIL20GT」(LDA-DNT31)
日産自動車株式会社

環境大臣賞

省電力サーバ ECO CENTER 日本電気株式会社
(以上、関係省大臣賞3件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

インクジェット複合機(PIXUS MP630) キヤノン株式会社

小型スクウェア蒸気発電機 Steam Star (MSEG100L, MSEG132L)
株式会社神戸製鋼所

環境に配慮したパッケージを採用した国産ワイン
(サントリーデリカメノン デリカメ720ml/サントリー有機栽培ぶどうのおいしいワイン。720ml)
サントリー株式会社

エコどんぶり 日世株式会社

スマートループ対応サイバーカーナビゲーションシステム(AVIC-VH9000)
バイオニア株式会社

ビジネスエコバイク(業務用電動ハイブリッド自転車)(BE-EPBS632S, BE-EPBU432S)
パナソニック サイクルテック株式会社

木質床材「Eフロアー」シリーズ パナソニック電工株式会社

日立エネルギー回収システム(マイクロ水力発電システム)
(EBS-F80H, EBS-F80M, EBS-F80L, EBS-F125) 株式会社日立産機システム
(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞8件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

再生液晶パネル使用液晶テレビ(15インチ液晶テレビ AM-P15H1)
晩峰株式会社

産廃紙パウダーを主原料とした紙・合成樹脂混成材料 MAPKA(マブカ)
株式会社環境経営総合研究所

屋上自然応用遮熱シート「冷えルーフ」 株式会社サワヤ
(以上、審査委員長特別賞3件)

エコサービス部門

農林水産大臣賞

茶産地育成事業～お茶の樹を植えて地域に活気～ 株式会社伊藤園

経済産業大臣賞

エコストアシステム 三洋電機株式会社

環境大臣賞

遠隔省エネチューニングサービス「省エネ当番」
(ビル空調向け省エネサービス) ダイキン工業株式会社
(以上、関係省大臣賞3件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

積載物の梱包用荷崩れ防止ベルトによるリース・リサイクルサービス
エコピズ株式会社

カーウイングスナビゲーションシステム(情報チャンネル「あなたもエコドライブ」)
日産自動車株式会社

農業情報管理システム「GeoMation Farm」
日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社
(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞3件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

環境配慮型繊維染色技術:INKMAX(染色革命)
株式会社インクマックス

「ランプtoランプ」を目指す蛍光管リサイクル事業 株式会社ジェイ・リライツ

鶏糞焼却によるバイオマス発電 みやざきバイオマスリサイクル株式会社
(以上、審査委員長特別賞3件)

第6回エコプロダクツ大賞 受賞一覧

エコプロダクツ部門

農林水産大臣賞

ベストカップルハウス 株式会社 グリーンシステム

経済産業大臣賞

低炭素社会の交通ネットワーク実現に貢献する、電動ハイブリッド自転車
「eneloop bike「CY-SPA226」と「ソーラー駐輪場」の開発 三洋電機株式会社

国土交通大臣賞

アイドリングストップ機構「i-stop(アイ・ストップ)」
マツダ アクセラ(DBA-BLEFW)、マツダ ビアンテ(DBA-CCEFV)に搭載 マツダ株式会社

環境大臣賞

家庭用燃料電池「エネファーム」 東京ガス株式会社、大阪ガス株式会社、
東邦ガス株式会社、新日本石油株式会社、パナソニック株式会社、
東芝燃料電池システム株式会社、株式会社長府製作所、株式会社ENEOS セルテック
(以上、関係省大臣賞4件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

太陽光照明システム ソーラチューブ
160DS, 290DS(プライトンアップシリーズ)/330DS, 750DS(ソーラマスターシリーズ)
ウシオライティング株式会社、株式会社井之商

「グリーンファースト」工業化住宅(戸建て住宅) 積水ハウス株式会社

安全性と長寿命を追求した二次電池「SCiB™」 株式会社 東芝

循環式軽量水辺緑化システム「クールバレットシステム」 東邦レオ株式会社

デジタル補聴器 ONWA モデル KJ・LJ・MJ
(WH-216K)他17機種) パナソニック四国エレクトロニクス株式会社

国産材(間伐材)パネル「J」パネル端材を再利用した遊具「J・ブロック」
本庄工業株式会社

HiTES(ハイトス)タイヤ空気圧モニタリングシステム 横浜ゴム株式会社
(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞7件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

ヘックメック(未来の子供たちにエコ心を伝える、教える)HM01 三惠工業株式会社

ブレイルーーフ 中国電機製造株式会社

バイオマスマネキン 株式会社ヤマトマネキン
(以上、審査委員長特別賞3件)

エコサービス部門

農林水産大臣賞

次世代省CO₂ハウス・ハイブリッドエコウインハウスの全国普及コンソーシアム
「チームエコウイン」 一級建築士事務所 有限会社ロクス

経済産業大臣賞

エコ バリユー バック 株式会社ブリヂストン

環境大臣賞

Ecoバイク「旅チャリ」 株式会社JTB 首都圏、パナソニック サイクルテック株式会社
(以上、関係省大臣賞3件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

カーボンオフセット導入環境配慮型周遊券「箱根旧街道1号線きつぷ」
小田急電鉄株式会社 箱根登山鉄道株式会社、箱根登山バス株式会社

インクカートリッジ里帰りプロジェクト
ブラザー、キヤノン、デル、エプソン、日本HP、レックスマーク

ヨシでびわ湖を守ろう～ReEDENプロジェクト～ 株式会社コクヨ工業滋賀

ビジネスホテルにおける「エコひいき」(連泊のお客様が未清掃の場合ノベルティのプレゼント)
および「エコ泊」(一部店舗でカーボンオフセット)の導入 株式会社スーパースターホテル

「リフォームローンecoプラン」～住まいのエコリフォームと生物多様性保全を応援～
株式会社損害保険ジャパン、株式会社損保ジャパン・クレジット

使用済み竹割箸の竹炭リサイクル
パナソニックグループ労働組合連合会 休暇村 ユニピアささやま
(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞6件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

エネルギー・マネジメント・ソリューション「見えタロー®」 株式会社環境経営戦略総研

期限切れ等で廃棄される未開封飲料のリサイクル処理サービス

株式会社リヴァックス
(以上、審査委員長特別賞2件)

第7回エコプロダクツ大賞 受賞一覧

エコプロダクツ部門

農林水産大臣賞

間伐材防音壁「安ら木Ⅱ(やすらぎⅡ)」
篠田株式会社、岐阜県森林組合連合会、本庄工業株式会社

経済産業大臣賞

環境配慮型エスカレーターとリニューアール(VXシリーズ、VXSシリーズ)
株式会社 日立製作所 都市開発システム社、株式会社 日立ビルシステム

国土交通大臣賞

日立バラスト水浄化システム ClearBallast
株式会社 日立プラントテクノロジー

環境大臣賞

すすぎ1回で 節水・節電、時間短縮「アタックNeo」
花王株式会社
(以上、関係省大臣賞4件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

太陽熱利用ガス温水システム「SOLAMO」
株式会社ガスター、リンナイ株式会社、三協立山アルミ株式会社、
株式会社ノーリツ、高木産業株式会社、株式会社長府製作所
大阪ガス株式会社、東邦ガス株式会社東京ガス株式会社

超音波診断システム Aplio MX (SSA-780A) 東芝メディカルシステムズ株式会社

ベレタイザー TSシリーズ(TS-550, TS-250, TS-150, TS-55, TS-35 L)
株式会社 土佐テック

ディーゼルエンジンハイブリッドフォークリフト「ジェネオ ハイブリッド」
株式会社 豊田自動織機

(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞4件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

midorie(ミドリエ)
(壁面緑化システム「花のかべ」、屋上緑化システム「緑の屋根」、
ミドリエデザインシリーズ) サントリーミドリエ株式会社

省燃費型・船底防汚塗料「LF-Sea(エルエフシー)」シリーズ
日本ペイントマリン株式会社

F-rents(フレンツ)[レンタサイクルコミュニティシステム]
株式会社フルタイムシステム

(以上、審査委員長特別賞3件)

エコサービス部門

農林水産大臣賞

循環(リサイクル)、エネルギー消費・使用量の削減
生活協同組合ちばコープ、生活協同組合さいたまコープ、生活協同組合コープとうきょう、
とちぎコープ生活協同組合、生活協同組合コープぐんま、いばらきコープ生活協同組合
(生活協同組合連合会コープネット事業連合加盟のうち6団体共同)

経済産業大臣賞

川崎火力からの蒸気配管大規模連係による蒸気の販売供給
川崎スチームネット株式会社、東京電力株式会社

国土交通大臣賞

「バルクコンテナ」一貫物流システム センコー株式会社

環境大臣賞

SMB C環境配慮評価融資/私募債 株式会社三井住友銀行
(以上、関係省大臣賞4件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

物流パフォーマンス(CO₂)の見える化に向けた情報提供
佐川急便株式会社

間伐材利用促進と植林代行システムによるCO₂削減
株式会社ゼストシステム

(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞2件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

風の解析とデザイン(住宅の風通しの解析と計画)
株式会社ユリカデザイン ウィンドラボ

(以上、審査委員長特別賞1件)

第8回エコプロダクツ大賞 受賞一覧

エコプロダクツ部門

農林水産大臣賞

竹紙(たけがみ) 中越パルプ工業株式会社

経済産業大臣賞

水道直結型温水器「サントップ」 ST-195/24F、ST-195/24S
株式会社寺田鉄工所

国土交通大臣賞

日産リーフ ニッサン ZAA-ZE0 日産自動車株式会社

環境大臣賞

エコシングル水栓 TKHG31PE TOTO株式会社
(以上、関係省大臣賞4件)

節電大賞(エコプロダクツ大賞推進協議会特別賞)

日立超省エネ変圧器 Super アモルフアス XSH シリーズ
株式会社 日立産機システム
(以上、節電大賞1件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

プロジェクター液晶プロジェクター NP-M300X、NP-M260X
NECディスプレイソリューションズ株式会社

樟生ビール品質管理システム「サッポロ セバレ システム」
セバレサーバー サッポロビール株式会社

「地産地消」と「循環型社会の構築」に寄与するライシンキ
TOYO KING NEX NV100 ライス 東洋インキ株式会社

POTENZA S001 RFT 株式会社ブリヂストン

マツダデミオ(新開発直噴ガソリンエンジン「SKYACTIV-G」搭載)
DBA-DEJFS マツダ株式会社

(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞5件)

エコプロダクツ大賞推進協議会特別賞(節電優秀賞)

ベレット・ヒーティングシステム 木燃 MN-12F 株式会社 相愛

次世代 人検知センサを利用した照明・空調の節電・省エネ自動環境制御
システム「T-Zone Saver」 大成建設株式会社/東光電気株式会社

(以上、節電優秀賞2件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

チガヤマット(張芝タイプ) ICM エスベックミック株式会社

木質加熱アスファルト舗装(ハーモニーロードウッド) 田中建材株式会社

ホクテ貝殻を利用したダストレスチョーク
日本理化学工業株式会社/地方独立行政法人北海道立総合研究機構 工業試験場

(以上、審査委員長特別賞3件)

エコサービス部門

経済産業大臣賞

ビル用マルチエアコン向け省エネサービス VRV・エネ・TUNING ダイキン工業株式会社

国土交通大臣賞

ノンフレーム工法 日鐵住金建材株式会社

環境大臣賞

エネック PLUS 大阪ガス株式会社
(以上、関係省大臣賞3件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

自動車保険Web約款「SAVE JAPAN プロジェクト」
~Web約款で希少生物種生息地の環境保全活動を支援~

株式会社 損害保険ジャパン

(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞1件)

エコプロダクツ大賞推進協議会特別賞(節電優秀賞)

商品ライフサイクルトータルでの環境負荷削減を実現する提案活動とサービス提供
~GREEN NAVIとECO情報プラグイン~

キャノン株式会社/キャノンマーケティングジャパン株式会社

使用電力見える化クラウドサービス
株式会社東芝/東芝ソリューション株式会社

(以上、節電優秀賞2件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

善循環型食品リサイクルシステム アースサポート株式会社

未利用魚の循環型ビジネスモデル(二次三次活用へ向けて)
橋水産株式会社

(以上、審査委員長特別賞2件)

第9回エコプロダクツ大賞 受賞一覧

エコプロダクツ部門

農林水産大臣賞

大断面耐火集成材 燃エンウッド 株式会社竹中工務店

経済産業大臣賞

家庭用固体酸化燃料電池コージェネレーションシステム「エネファーム type S」
大阪ガス株式会社 アイシン精機株式会社 株式会社長府製作所

国土交通大臣賞

家まるごと断熱+エコナビ搭載換気システム～ビューアテック～(パナホーム エコアイデアの家)
パナホーム株式会社

環境大臣賞

ちよいパクラス 山崎製パン株式会社
(以上、関係省大臣賞4件)

節電大賞(エコプロダクツ大賞推進協議会特別賞)

ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275 シリーズ
富士ゼロックス株式会社
(以上、節電大賞1件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

低被ばく化技術(AIDR 3D)搭載X線CT診断装置 Alexion™ TSX-032A 他9機種
東芝メディカルシステムズ株式会社

エアインシャワー 代表品番 TMGG40EC(全47品番)
TOTO株式会社

2MWダウンウインド型風力発電システム HTW(Hitachi Wind Turbine)20-80
株式会社日立製作所 電力システム社

低燃費タイヤ「ECOPIA EP001S」 株式会社ブリヂストン
もろみベレット 明治飼糧株式会社

(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞5件)

エコプロダクツ大賞推進協議会特別賞(節電優秀賞)

太陽光発電および蓄電池を備えた建物における直流配電網構築システム「スマートDCオフィス」 大成建設株式会社、株式会社東芝
冷凍食品「自然解凍でおいしい!」シリーズ 日本水産株式会社
(以上、節電優秀賞2件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

スーパー白洲そとん壁W、薩摩中霧島壁、中霧島壁ライト、白洲リフォーム
高千穂シラス株式会社

チクノキューブ 株式会社チクノライフ
(以上、審査委員長特別賞2件)

エコサービス部門

農林水産大臣賞

貝殻魚礁による里海づくりシステムの普及 全国漁業協同組合連合会

国土交通大臣賞

夢発電システム 株式会社一条工務店

環境大臣賞

自然の風を活かして暮らせる夏の節電「通風・創風 設計サポート」サービス
株式会社LIXIL
(以上、関係省大臣賞3件)

節電大賞(エコプロダクツ大賞推進協議会特別賞)

スマート街路照明サービス 伊藤忠商事株式会社
(以上、節電大賞1件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

損保ジャパン・グリーン・オープン(愛称:ぶなの森)
損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社

新世代 ECHONET Lite 対応クラウド型 HEMS システム
東芝ライテック株式会社

食の循環 パナソニック株式会社 デバイス社 京丹後市役所 アミタ株式会社
Fujitsu Global Cloud Platform「FGCP/S5」 富士通株式会社
(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞4件)

エコプロダクツ大賞推進協議会特別賞(節電優秀賞)

スマートコモンシティ 積水ハウス株式会社
(以上、節電優秀賞1件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

都市鉱山の効率的な発掘 木村メタル産業株式会社
間伐材等地域資源を有効利用した自然復元化工法 有限会社クスベ産業
安心のデータ消去でレアメタル回収に繋ぐ事業 シービーセンター株式会社
(以上、審査委員長特別賞3件)

第10回エコプロダクツ大賞 受賞一覧

エコプロダクツ部門

農林水産大臣賞

雑草アタック S 日本乾溜工業株式会社

経済産業大臣賞

省エネ・環境・震災配慮型エレベーター「SPACEL-GR」「ELCRUISE」
東芝エレベータ株式会社

国土交通大臣賞

SMA×ECOプロジェクト
大和ハウス工業株式会社

環境大臣賞

アグロフォレストリーチョコレート(チョコレート効果群を含む)
株式会社 明治
(以上、関係省大臣賞4件)

節電大賞(エコプロダクツ大賞推進協議会特別賞)

三菱電機ルームエアコン「霧ヶ峰」(Zシリーズ)
三菱電機株式会社
(以上、節電大賞1件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

高耐食性めっき鋼板「スーパーダイマ®」
新日鐵住金株式会社

100%石油外天然資源タイヤ「ダンロップ・エナセーブ100」
住友ゴム工業株式会社

オフセットサイディング
ニチハ株式会社

高性能樹脂窓「APW330」
YKK AP株式会社
(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞4件)

エコプロダクツ大賞推進協議会特別賞(節電優秀賞)

ピークシフト自販機
日本コカ・コーラ株式会社
(以上、節電優秀賞1件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

グッドマン換気口(パッシブ換気口)
有限会社グッドマン

フローラル・マット
有限会社仲田種苗園

Jパネル
協同組合レングス
(以上、審査委員長特別賞3件)

エコサービス部門

経済産業大臣賞

画像人感センサーを活用した次世代照明制御システム
東芝ライテック株式会社、株式会社東芝

国土交通大臣賞

泡の力で省エネ「空気潤滑システム」搭載船での運航
日本郵船株式会社、株式会社MTI、株式会社大島造船所

環境大臣賞

近大エコ出願
学校法人近畿大学
(以上、関係省大臣賞3件)

節電大賞(エコプロダクツ大賞推進協議会特別賞)

エコな下水処理場
山形市上下水道部 浄化センター
(以上、節電大賞1件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

オアシスEVシェアリング
株式会社オアシスソリューション

自然由来の吸着材を用いた水質保全システム「アクアトープ」
大成建設株式会社、日本植生株式会社

大分自動車道 エコエリア山田 男性トイレ エコトイレサービス(手洗器一体型小便器)
西日本高速道路株式会社、TOTO株式会社

PM2.5のワンストップサービス 微小粒子状物質(PM2.5)対応プロジェクト
富士通クオリティ・ラボ株式会社
(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞4件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

コンビエコアクト
コンビ株式会社
(以上、審査委員長特別賞1件)

第11回エコプロダクツ大賞 受賞一覧

エコプロダクツ部門

経済産業大臣賞

カラー・オンデマンド・バブリッシングシステム「Versant™ 2100 Press」
Versant™ 2100 Press / GX Print Server for the Versant™ 2100 Press
富士ゼロックス株式会社

国土交通大臣賞

小排気量クリーンディーゼルエンジン「SKYACTIV-D 1.5」
マツダデミオ(2WD:LDA-DJ5FS, 4WD:LDA-DJ5AS)に搭載
マツダ株式会社

環境大臣賞

「ほんだし®」用包装材料に関する環境負荷低減に向けた取り組み
味の素株式会社
(以上、関係省大臣賞3件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

レンガ型アルミレス紙バック飲料容器
株式会社伊藤園、日本製紙株式会社、凸版印刷株式会社

ダクトキャッピング空調システム
大成建設株式会社

超電導磁石式全身MRI装置「Vantage Elan™」(MRT-2020)
東芝メディカルシステムズ株式会社

ここだけ簡単快適エコリフォーム「ココエコ」
株式会社LIXIL

住宅用 高効率 全熱交換型換気システム「エコエア90」
株式会社LIXIL

(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞5件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

原料米の超扁平精米技術を用いた清酒
大七酒造株式会社

ミルクヒートポンプシステム
合同会社北海道新エネルギー事業組合

(以上、審査委員長特別賞2件)

エコサービス部門

農林水産大臣賞

神恵内村でのコンブスボアバッグを活用した磯焼け対策
神恵内村、有限会社グリーンサポート、株式会社エコニクス

国土交通大臣賞

高い環境性能を実現した省エネ型新幹線車両N700Aの開発と投入
東海旅客鉄道株式会社

環境大臣賞

風力発電事業者向け火災保険～事故再発防止費用特約～
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

(以上、関係省大臣賞3件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

館内物流システム
佐川急便株式会社

文化財向け環境配慮照明システム
東芝ライテック株式会社

「循環型ファッション」の取り組み
株式会社丸井グループ

(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞3件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

森林資源の循環利用による地球温暖化防止活動
城南建設株式会社

(以上、審査委員長特別賞1件)



エコプロダクツ大賞推進協議会に対するお問い合わせは

エコプロダクツ大賞推進協議会事務局
一般財団法人地球・人間環境フォーラム内
〒111-0051 東京都台東区蔵前3-17-3
蔵前インテリジェントビル8階
TEL. 03-5825-9735 FAX. 03-5825-9737
E-Mail : ecoproducts@gef.or.jp

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。